ap bank fes '07

ap bank fes '07 environmental report

ap bank fesは2005年の初回開催から3度目を迎えた2007年、大型の台風4号によって、
前日祭も含めた3日間が中止となり、1日のみの開催となりました。ap bank fes では、
エコ意識の連鎖を意味する「eco-reso(エコ・レゾ)」をテーマに、生活にもつながる食・ゴミ・エネルギーの
目線を会場にひろげていました。そこにはいつも、暖かい太陽の光と、緑と、木漏れ日と、おいしいごはんに音楽と笑顔。
2007年のap bank fesでは、台風の直撃によって、あたりまえにあることの難しさ、
素晴らしさを感じざるを得ませんでした。それと同時に、可能性を模索し、新たに動き出す力の強さを
見ることができました。

1日のみとなった ap bank fes '07、そこで伝えられた「eco-reso」をレポートします。

食べること 食べる　つながる

ライブ会場に併設された2つのフードエリアには毎年多くの飲食店が出店します。
このフードエリアでは、オーガニックな食材、地元の食材にこだわり、体にやさしいごはんが食べられます。
出店者は、どこも皆、自分たちの料理にこだわりと愛情をもっています。
だから、食べる人も素材のストーリーを感じながら味わうことができます。
オーガニックな素材や、地元の素材を選んで食べることは、有機農業や、無農薬／低農薬栽培を実践する
農家さんを応援することにつながったり、地元の農業を支援することにもつながります。
食べることからはじまる、つながりや広がりがap bank fesのフードエリアにはあります。

ap bank fes’07 飲食出店者

< Food Area Piha >

(有)エコライフ商友
(有)えこふぁーむ
NPO法人百菜劇場
NPO法人きらり水源村
さんファーム
Spice Café Bija
minicle
Y・Yファーム
フォレストファーム
石窯パンの専門店　ダーシェンカ

< Food Area Koti >

タコデリオ
バミューダ
インド料理マハッタ
CANTIK(チャンティック)
白猫堂
代沢FOODUARY
Café Pitwu(カフェピトゥ)
ナチュラルフーズ　夢は正夢
創作ぶっかけ讃岐うどん(Bobby’s Bar)
韓国料理のソウル屋さん
麦とろ専門　麦とろ人
KUMINSOUL(クミンソウル)
ORGANIC CAFÉ LOHAS E-LIFE
Very Berry
NAP JAPAN
丼屋(ドンヤ)
SPIRAL DRIFTER CAFÉ
(スパイラルドリフターカフェ)
ロックンロール食堂
大地を守る会
麻こころ茶屋
ポラン広場東京POD
善光園
さんさんファーム
UPPER
Café Earth
市田柿のかぶちゃん農園
菜食健美
やさしいくらし やさしいごはん Sonne(ゾンネ)
山のハム工房　ゴーバル
野田塩ベコの道
kurkku kitchen & cafe

買うこと 選んで　買う

暮らしの中で必要不可欠なもの、生活を豊かにするもの、沢山のものに囲まれて私たちは日々暮らしています。
その中に、どこで誰がどのようにつくったものかが分かるものは、どれくらいあるでしょうか？
ap bank fesでは、体にも環境にも負荷の少ない素材でつくられたもの、
途上国で働く人々の支援につながるフェアトレードのものを、そこにあるストーリーや、
選んで消費することで変えられる未来を感じながら買うことができます。

ap bank fes' 07 雑貨出店者

< eco-reso Booth 内>

kurkku lab
ピープル・ツリー
NPO 法人 FHCY アジア障害者パートナーズ
ネパリ・バザーロ
Slow water cafe
帽子専門店 SIGN
MOTTAINAI
天然雑貨屋ヒノデカニ商店
sipilica
えみおわす
純オーガニックコットン製品と布ナプキンの
メイド・イン・アース
わんのはな（愛犬のエコショップ）
ボディクレイ
ワイルドツリー
エコ雑貨倶楽部
HIMALAYAN MATERIAL
がんこ本舗／ wafa
チャハット
ReNature
ぐらする一つ

オフィシャルグッズ きもちよく使って欲しい

ap bank fesはオフィシャルグッズの素材にもこだわりました。夏の暑い日、気持ちよく着てもらいたい。
Tシャツはオーガニックコットン100%。流れ出る汗を拭くタオルは廃棄される綿花の種の部分を使用した
リサイクル素材で、吸水性も肌触りもいいものを。ポップなカラーが目をひくエコバッグは、
前年のap bank fes '06で回収されたペットボトルを再生したポリエステル素材。
デザインにもメッセージをこめて、見て、使ってエコを感じるオフィシャルグッズになっています。

オフィシャルグッズデザイン

Tシャツ（球根）
森本千絵（goen°）

Tシャツ（eco-reso）
箭内道彦（風とロック）

Tシャツ（to U）
丹下紘希（Yellow Brain）

Tシャツ（持続可能なエネルギー）
アレクサンダー・ゲルマン

Tシャツ（自然との共生）
黒沢潔

Tシャツ（地球市民）
大日本タイポ組合

エコバッグ
kurkku< <<design

タオル
大日本タイポ組合

キャップ
片岡良輝（realize）

ヒップバッグ
THE NORTH FACE × kurkku< <<design

エネルギー 選ぶということ

ap bank fes '07では、ステージの音響、各エリアでの照明など多くの電力を必要とします。
また、電力以外にも掛川駅から会場までを往復するシャトルバスや、地方からのツアーバスなどの燃料も必要となります。イベントでも、私たちの生活でも、エネルギーがどのように使われているか、どのエネルギーを選ぶかということは地球温暖化を防ぐために一人一人にできる大切な行動の１つです。

ap bank fes '07のステージで使用する電力には、静岡県にある風車で発電されたものを使用しました。
これは、会場である「ヤマハリゾートつま恋」が「つま恋で行う音楽イベントのエネルギーを自然エネルギーに代えていこう」と、今年から新たにグリーン電力証書システム※を導入し、風車の電力を購入したものになります。

また、フードエリアの発電機の燃料には軽油の代わりに、食用油（植物性）をリサイクルしてつくったバイオディーゼルが使用されました。バイオディーゼルとは、植物由来のものを原料としているので、通常の化石燃料よりも、CO_2や大気汚染の原因となる有害物質の排出が少ないとされています。
また、植物はその成長の際にCO_2を吸収して育つことから、それを燃やしたときに発生するCO_2はゼロ換算とする「カーボンオフセット」という考え方もあり、バイオディーゼルは新世代の燃料として注目されています。
ap bank fes '07では、シャトルバスや、ツアーバスの燃料としても一部、バイオディーゼルを使用しました。

※グリーン電力証書システムとは…風力や太陽光、バイオマスなどの自然エネルギーによる電気には、「電気そのものの価値」の他に、省エネルギー・CO_2排出削減などの環境付加価値をもっています。この「環境付加価値」を「電気」と切り離して「証書」という形で企業や、個人と取引することを可能にしたのが、「グリーン電力証書」システムです。

ごみ　まず、減らすこと。次に、リサイクル。

多くの人が訪れるイベントでは、当然多くの「ごみ」が出てしまいます。
ap bank fesでは、2005年の開催からごみの分別を徹底してきました。今年は、9分別。
分別はA SEED JAPANのボランティアによるナビゲートのもと、来場者自身の手で行われ、
その分別もすっかり定着してきました。そんな中、今年は新たに、リユースカップ／リユースディッシュの
前面導入を行い、根本からごみを出さないように、紙コップと紙皿のごみをゼロにしました。

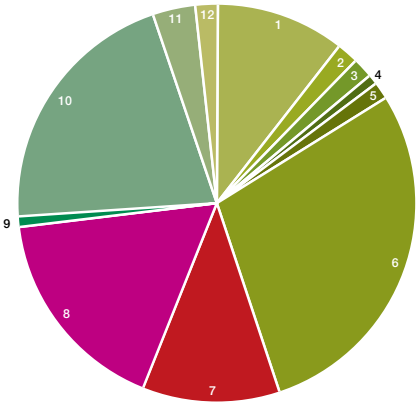
９分別の種類とリサイクル先

■ごみ種類（7/16 の排出量）
→リサイクル方法→再生物【リサイクル先】

1：ペットボトル(555kg)
→分子レベルに分解、ポリエステル原料化
→ペットボトル【テイジン株式会社】
2：ペットボトルのキャップ／ラベル(75kg)
→紙、木材と混同させ化石燃料の代替となる固形燃料に
→RPF(固形燃料)【株式会社エコネコル】
3：缶(94kg)
→素材ごとに分解し再び、鋼材、缶へ
→缶・金属製品【株式会社エコネコル】
4：割り箸(37kg)
→分解して、端材のパルプと混合、製紙化
→紙【王子製紙株式会社】
5：スプーン・フォーク(74kg)
→蒸し焼き
→つま恋の肥料になる炭【ヤマハリゾートつま恋】
6：生ごみ(1499kg)
→水分と養分を調節**→飼料**【株式会社ひがしぐるま】
7：燃えるごみ(583kkg)→リサイクルできません
8：燃えないごみ(878kg)→リサイクルできません
9：危険物(2kg)→それぞれの製品に応じて処理

□ その他、出店者からのごみ
10：ダンボール(1113kg)**→再生紙**【つま恋より市の処理業者へ】
11：ビン(182kg)
→粉砕して**カレット**(工業用のガラスくず)【株式会社エコネコル】
12：廃食油(99kg)**→バイオディーゼル燃料**【株式会社セベック】

ap bank fes '07



1 ペットボトル
2 ペットボトルのキャップ / ラベル
3 缶
4 わりばし
5 スプーン／フォーク
6 生ゴミ
7 燃えるごみ
8 燃えないごみ
9 危険物
10 ダンボール
11 ビン
12 廃食油

リサイクル率：71.9%（昨年比7.7%ダウン）
来場者１人当たりのごみの量：140g

※ 出店者から排出された、ダンボール、ビン、廃食油の3項目を除いた数値を来場者数27000人で割りました。

『ペットボトル』から『ペットボトル』へ　～テイジン株式会社～

ap bank fes '07の会場で回収された555kgのペットボトル。
「ボトルtoボトル」の技術で、ふたたびペットボトルへ。

テイジン株式会社の徳山事業所は瀬戸内海に沿って 20km も連なるコンビナートの最東端に位置します。ここは、現在は世界で初めて「ボトル to ボトル」を実施した工場として注目されています。
「ボトル to ボトル」とは、回収したペットボトルを化学的に分解して原料まで戻し、それを再びペットボトル用の樹脂として精製することをいいます。
昨年の ap bank fes '06 で回収されたおよそ 3 トンのペットボトルは、同じくテイジン株式会社の所有する松山事業所でペットボトルから新しいポリエステル繊維にリサイクルされ、オフィシャルグッズの「エコバック」として再びつま恋に帰ってきました。
ここで活躍している技術は「ケミカルリサイクル」。これは、化学反応によってポリエステル製品を分子のレベルまで分解し、高純度のポリエステル原料をつくる技術です。しかも、ここで生まれたポリエステル原料は、石油からつくられたポリテステル原料と同じ品質。ケミカルリサイクルは何度くりかえしても、素材の品質を劣化させません。この技術は、ポリエステル 1 トンを作るのに必要とされる原油 0.63 トンが節約されることから、数あるリサイクルシステムの中でも、一番リサイクル効率が高い方法として注目されています。
今年回収されたペットボトルも、ケミカルリサイクルで生まれ変わり、ふたたびペットボトルへ生まれ変わります。
また、ペットボトルのリサイクルは、決められた方法で分別し、地元のスーパーや公民館などの回収場所に廃棄するなど、個人でも簡単に取り組むことができます。日頃、自分たちが廃棄したものがどのようにリサイクルされるか、そのリサイクル方法についても興味をもったり、物を買う際にどのような環境配慮がされているかを確認するなど、私たちの目線や意識を変えることが社会を変える最初の一歩になります。

ワークショップ

実際に自然の中に行ったり、手を動かしたり、見たり、聞いたり、体を動かすことで自然を感じ、理解することや、作り出すよろこびを感じることができるワークショップ。ap bank fes '07では、融資先や、地元の方、環境団体の方たちにご協力いただき様々なワークショップを実施しました。

『ぼろ布ぞうり作り』
地元・掛川のおばあちゃんたちとぼろ布でオリジナルのぞうり作り
（いやし処ほのぼの）

『竹小物つくり』
会場となる、つま恋で伐採した竹をつかっての小物作り
（きらり水源村-ap bank融資先）

『おんらくを楽しもう』
自然素材で作った楽器でセッション
（kurkku＋がんこ本舗）

『コカリナ作り』
やむなく伐採された木々からつくったオカリナ演奏レッスン
（渋温泉旅館組合青年部-ap bank融資先）

『藍染めてぬぐい作り』
採りたての藍の葉っぱをつかって模様をつける手ぬぐい作り
（kurkku）

『ふろしきの包み方』
レジ袋がもったいない、そんな時のためにふろしきの上手な包み方を覚えてみよう
（MOTTAINAI）

『つま恋パレット』
切り抜いたダンボールに思い思いに絵を描いてみんなで変な動物をつくろう
（森本千絵＋大塚いちお）

『つま恋の自然観察会』
自然豊かなつま恋を自然観察指導員と歩いていろんな発見をしよう
（日本自然保護協会）

eco-reso Q&A

ap bankでは、「eco-reso Q&A」と題して、環境に関する素朴な質問、いまさら聞けない質問、日頃疑問に思っていることなど、さまざまな質問を募集し、専門家の方にいただいた回答をウェブにて公開しています。ap bank fes '07の『eco-reso Q&Aブース』では、会場に質問BOXを設置し、来場者から質問を募集しました。回答は随時、ウェブサイトにて公開されています。

http://www.apbank.jp/ecoreso/

夜のごみ拾い

ap bank fesが行われる日は、遠方から新幹線で訪れる来場者で掛川駅周辺は大変混雑します。多くの人が使う駅は、駅前のごみ箱があふれたり、道にごみが落ちていたりと、イベント翌日には近隣の方に迷惑をかけてしまったり、不快な思いをさせてしまっているということを耳にしました。それならば、ap bank fes '07から掛川駅に「ありがとう」の気持ちも込めてキレイにしたい。そんな想いから、今回から駅前でのごみ拾いをはじめました。ごみ拾いには東京を中心に活動するNPO green birdの方たちにご協力いただき、Bank Bandのコーラス、登坂亮太さんや、帰りがけの人々も飛び入り参加して、駅前に楽しい雰囲気が広がりました。

ap bank dialogue 「地球温暖化はとめられるのか?」

MC：GAKU-MC
出演：小林武史（ap bank代表）、江守正多（国立環境研究所）、枝廣淳子（環境ジャーナリスト、翻訳家）

毎回さまざまなテーマで行われるトークショー「ap bank dialogue」。今回は台風による予定変更を余儀なくされ、1回のみの開催となった。テーマは「地球温暖化」。今や、だれもが耳にするこの問題に、私たち一人一人はなにができるのだろうか。

小林　今回は台風という自然の脅威に、改めて向き合わされました。この台風が地球温暖化に直結しているかどうかは分からないけれど、温暖化は、今、環境問題の中で最重要問題ではないかと思います。それをテーマに今回はdialogueを行いたいと思います。

GAKU-MC　そもそも温暖化とは何なんですか、というところから始めましょうか。

江守　私たちはエネルギーを使うことにより、石油・石炭・天然ガスを燃やしたり木を切ったりしています。大気中には二酸化炭素などの温室効果ガスが出ていって、それで地面から宇宙に逃げようとするエネルギーが温室効果ガスによって捕まって、また地面に戻ってくる。その影響で地球の温度がすでに0.7℃くらい上がっていて、このまま放っておくと今世紀中に3℃、4℃と、もっと温度が上がってしまうと言われています。それが地球温暖化ですね。

小林　温暖化が進んでいくと、災害の大型化など、いろんな症状が出ると言われていますよね。

江守　実は地球の温度や雨の降り方などは温暖化と関係なく自然に変動しているんです。昨年の冬は暖冬でしたけれど、その前の冬は寒くて雪がたくさん降りました。確かに、地球の温度は、温暖化のせいで平均的には徐々に上がっているんですが、日々の出来事、あるいはある年の出来事は、かなりまだ偶然によって支配されているところがあります。しかし、今回の台風のような強い台風が来る確率が少しずつ高まっているというのは言えると思います。

GAKU-MC　生態系への影響はありますか？

江守　種の絶滅が加速すると言われています。環境が変わっていくことによって、適応できなくなった植物や動物がどんどん変わっていって、生態系というのはいろんな連鎖で成り立っていますので、ひとつの種がいなくなることで別の種も影響を受けることになります。もちろん、人間にも何らかの間接的な影響があると思います。

小林　では、地球温暖化をとめるために、僕らにどんなことができるのか、具体的な話をしていきましょうか。

枝廣　地球には、森林や海など、二酸化炭素を吸収する力があるんですね。それが１年間に森林なら14億トン、海なら17億トン、合わせて地球全体で31億トンの二酸化炭素を吸収する力があるんですね。だから、31億トンよりも出さなければ温暖化は進みません。しかし今、人間は72億トンの二酸化炭素を出しています。それで温暖化が進んでいるんですね。どうやってそれを減らしていくかですが、まず１つ目は、『私たち一人一人が気をつけて減らす』ということ。それはライフスタイルを変えるという、とても大切なことです。

小林　みんなでマメにできる、電気消す、とか、シャワー浴びていたらこまめに水を止めるとか、ごみの分別とか、そういうクセも含めて、ですよね。

枝廣　その「クセ」というのは、実はすごく大事です。毎朝、どれくらいの歯磨き粉を歯ブラシにのせてるかというのは、意識はしてないけど、毎回同じくらいのせていますよね。つまり、私たちの行動はほとんど自動化されてるんです。問題なのは、温暖化じゃなくて、電気・ガス・ガソリンを好きなだけ使ってもいい時代に自動化されちゃった行動が続いているということなんですね。　2つ目は、『人々が二酸化炭素を減らしたくなるようなしくみや制度を作っていく』ということです。

小林　これはアル・ゴアさんも『不都合な真実』で言っていますが、リーダーを選んでいくことなんだと思うんです。もっと未来のことを見据えて考えなくちゃいけないと思います。

枝廣　例えば、二酸化炭素を出さないものを買った方が安かったらいいと思うんですね。今、二酸化炭素を出さないものは、電気にしても何にしても他よりもちょっと高くなってしまう場合が多いですよね。でも、例えば、二酸化炭素を出す量に応じて税金をかけてしまえば、二酸化炭素を出すものは高くなるでしょう？　そしたら、安いものが欲しかったら環境にいいものを買うようになる。それがしくみを作るということなんですね。

GAKU-MC　そういうことを提案して変えていくリーダーを私たちが選んでいかなければならないということですね。

枝廣　国のリーダーだけじゃなく、自治体とか企業とか、それぞれのリーダーが変えていくことだと思います。3番目に、『技術の力で減らす』こと。

小林　いわゆるエコプロダクツや、技術がもっと良くなっていくということですよね。

江守　そうですね。電球一つにしても、白熱灯じゃなくて蛍光灯にするとか、それだけで、同じだけの明るさ、便利さで、エネルギー量は少ないということが実現できますからね。

枝廣　そういうふうに技術がいろいろ開発されても、私たちが使いたいだけ使いたいものを使っていては意味がありません。そこで、4番目は、『私たちは何のために生きているんだろう？　何が本当の幸せで本当に大事なのは何なんだろう？　その根本的な問い直し』です。今温暖化が進んでいるのは、エネルギーをたくさん使ってるからです。それは、経済活動をたくさんしてるからですよね。物やサービスをいっぱい作っている。それは、私たちの幸せや満足度を上げるためです。だから、私たちの幸せや満足度をもう一回見直さないと何も変わらないですね。日本だけじゃなくて世界の他の地域を見ていても、今は「取り戻す時代」が始まってるんだと思うんですよ。それは、時間を取り戻す。本当の意味でのお金を取り戻す。それから、人との繋がりを取り戻す。一番大事なことは、自分の頭で考えて自分で選んで自分で決める力を取り戻す。そういう力がもっともっと広がってくると、変わるんじゃないかと思います。

小林　このフェスは「eco-reso」をテーマにしてきていますけれど、想いを周りの人たちに届けていくとか、それをレゾナンスしていくということがほんとに大事な時代が近づいて来てる気がしますね。

収支報告

2007年11月現在（暫定）

ap bank fes '07は、7/13（前日祭）、7/14、15、16の3日間の開催を予定していましたが、台風4号の影響により、7/13 ～ 15の3日間が中止になり、7/16の１日のみの開催となりました。その為、ap bank fes '07の収支は、下記の通り1億2600万円（暫定）の赤字となりました。

ap bank fes '07 収支報告 2007年11月2月現在（暫定）

（単位：円／消費税込み）

チケット収入	¥9,000／1日券	7月14日(土)25,720枚 ／ 15日(日)25,688枚 ／ 16日(月)25,695枚	¥693,927,000
	¥27,000／3日券	3日券：1,166枚	¥31,482,000
その他収入	物販	オフィシャルグッズ（10月までの通信販売含む）	¥47,378,510
	フードエリア収入	各フードエリア出店料、販売ロイヤリティー	¥5,989,083
	キャンプエリア収入	チケット代¥5,000×563枚販売	¥2,815,000
	協力金	賛同企業：大塚製薬株式会社、JR東海、トヨタ自動車株式会社、日清食品株式会社、ハイネケン ジャパン株式会社 ※50音順	¥8,483,400
イベント中止保険			¥133,400,000
公演中止による払い戻し 7月14日(土)・15日(日)	¥9,000／1日券	チケット払い戻し：7月14日(土)25,063枚 ／ 15日(日)24,867枚	¥－449,370,000
	¥27,000／3日券	チケット払い戻し：1,136枚 ※2日公演分¥18,000のみ払い戻し	¥－20,448,000
収入合計			¥453,656,993

イベント制作費	ライブエリア	ステージセット、舞台監督、大道具、音響、照明、映像、特効、運搬など	¥164,265,610
		楽器テクニシャン人件費、楽器レンタル費、調律など	¥8,069,269
	フードエリア	テント、看板、運搬、音響、照明など	¥69,930,000
		出店管理経費、出店雑費、人件費など	¥7,350,796
		環境対策（ボランティア管理費、ゴミ対策、トイレ管理、バイオディーゼル燃料費など）	¥7,931,594
		ワークショップ、キャンプ経費、公開ラジオ番組制作費など	¥3,332,913
現地製作費		会場費、会場設営費（プレハブ・仮設トイレ、看板など）、舞台設営費、会場外設営費、人件費など	¥73,842,233
		広告宣伝費、公演名義料、チケット販売手数料など	¥15,394,780
		移動費、車両費、シャトルバス費など	¥21,216,321
		食事代・ケータリング代など	¥19,248,861
		アルバイト・警備員費など	¥54,640,953
		著作権使用料、運営雑費、花火、制作協力費など	¥18,189,201
		中止対応経費	¥8,382,510
出演アーティスト経費		出演者・ヘアメイク・スタイリストのギャランティー・交通費など	¥19,255,174
移動宿泊費		宿泊（出演者・スタッフ・ボランティア・関係者など）	¥26,543,390
		移動（出演者・スタッフ・ボランティア・関係者、レンタカー費など）	¥7,115,409
イベント運営費		チケット販売手数料、広告デザイン費、その他制作物など	¥30,491,683
		中止保険、リハーサルスタジオ代、打合せ経費など	¥16,769,156
		取材諸経費（ラジオ番組制作費、オフィシャルライター・カメラマン費、移動宿泊費など）	¥7,839,701
支出合計			¥579,809,554
収支			¥－126,152,561

※ 賛同企業とは、ap bank fes '07の主旨に賛同し、ap bank fes '07のコンテンツ制作にご協力いただいた企業です。
※ 烏龍舎はap bank fes '07の企画・制作に協力しておりますが、経費についてはスタッフの交通費、宿泊費のみの計上となっております。
※ 保険等、まだ入金／支払いなどが確定していないものがございますので、暫定値にて掲載させていただきます。

主　催	ap bank
企画・制作	ap bank　OORONG-SHA
賛　同	朝日新聞社 FM802 fm fukuoka 大塚製薬株式会社 株式会社インターネットレボリューション 株式会社ハドソン 株式会社リクルート　ホットペッパー 株式会社良品計画 キャンプ担当 コールマン ジャパン株式会社 佐川急便株式会社 THE NORTH FACE JR 東海 ZIP-FM TOWER RECORDS TOKYO FM 特種東海ホールディングス株式会社 凸版印刷株式会社 トヨタ自動車株式会社 日清食品株式会社 パタゴニア ぴあ株式会社 毎日新聞社 ヤマハ株式会社
環境対策協力	A SEED JAPAN 遠州鉄道株式会社 王子製紙株式会社 株式会社エコネコル 株式会社エンヴァイロテック 株式会社グリーンシンク 株式会社セベック クリスタル観光バス株式会社 帝人株式会社 東都観光バス株式会社 日本トイレ協会 三重交通株式会社 有限会社ひがしぐるま レコテック株式会社
協　力	掛川市　つま恋
運　営	サンデーフォークプロモーション

©ap bank fes '07